

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです) ]

御提案書	
技術分野	②汚染水処理 (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	自然蒸発による水処理
御提案者	諸岡 淳策
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>(イ) 特徴 自然蒸発作用</p> <p>蒸発槽により蒸発を促す素材を充填し、吸水性、浸透性、毛細管現象等を組み合わせ、自然蒸発させるものである。</p> <p>汚染水の問題で、絶対周りに迷惑をかけないことを前提として考えれば、水が消える (貯水の必要がない) 方法が一番である。</p> <p>(ロ) 仕様</p> <p>蒸発効率を上げる為には充填材の素材の選択が最も重要と考えられる。テスト段階ではゼオライトの造粒品を使用した。他にも検討すべき優れた素材はあるものと思われる。</p> <p>(ハ) 性能</p> <p>この募集を見て、短期間での蒸発テストの結果、1 m<sup>2</sup>当たりの蒸発量は20L/日であった。</p> <p>ひとまず、この蒸発量を基準として考えれば、500 t/日処理するとして、</p> $500,000\text{L} \div 20\text{L/日} = 25,000\text{m}^2$ <p>25,000 m<sup>2</sup>の蒸発面積が必要になります。</p> <p>具体的な例で考えれば、2,500 m<sup>2</sup>が10面必要であり、蒸発棟を建設するとすれば、5階建て、タテ25 m、ヨコ100 mの蒸発槽で各階に2面を建設するもの</p> <p>※別紙1参照</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)           <p>40年程前蒸発散浄化槽を施工していました。</p> <p>下水道の完備されていない地区の水洗化の商品でした。</p> <p>私自身、一回も汲み取りなしで、約35年使用しています。</p> </li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点           <p>蒸発槽の中に入れる充填材が水の動きにより少しずつ移動し、目詰まりを起こさな</p> </li> </ul>	

いかと気にしている。

また、蒸発量を増やす為には、吸水性、浸透率のよい素材で、蒸発の為の表面積を最大限増やしたい。そのためには、ゼオライト以外の素材についても積極的に検討し、より優れた素材を利用すべきものとする。

- ・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）

（備考）技術提案募集の内容（6分野）

- 1 汚染水貯蔵（タンク等）
- 2 汚染水処理（トリチウム処理等）
- 3 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- 4 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- 5 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- 6 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）